



江東区は、東京23区の東部に位置し、河川や東京湾に囲まれた「水彩都市」です。親水公園や緑道が点在し、大都市東京にありながらも自然に触れることのできる水と緑豊かな区です。区の人口は10年間で5万人以上増加して53万人を超え、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に臨海部等での開発が一層進むなど、躍動感にあふれています。

江戸の歴史・文化を残し、下町人情があふれる「深川地区」「城東地区」、今後さらに発展が期待される「臨海部地区」。魅力ある3つのエリアが、2030年代半ばを目標とする地下鉄8号線の延伸で強く結ばれ、益々発展していくことが期待されるなど高いポテンシャルを持っている、可能性の宝庫のまちです。

区民の9割が定住意向を示しており、これからも「住みたい、住み続けたい」と思っただけのよう、また、すべての世代にわたって誰もが健やかに安心して暮らせるよう、「支援の届かない区民ゼロ」を目指し、区民と同じ目線で力強く取り組みを進めていきます。そのために、熱意をもってチャレンジしていく皆さんの力を求めています。区民の現在、そして未来のため、笑顔あふれる江東区を共に創っていきましょう。



江東区データ KOTO CITY DATA

※ 令和5年4月1日時点

<b>人口</b> 535,305人	<b>面積</b> 42.99 km <sup>2</sup> (令和5年11月1日現在)	<b>令和5年度予算</b> 2,370億円 (一般会計)	<b>職員数</b> 2,659人 (うち女性は1,404人)	<b>区の花</b> サザンカ	<b>区の木</b> クロマツ
-----------------------	-----------------------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	--------------------	--------------------

令和6年3月

江東区立有明  
こども図書館が開設

有明スポーツセンターのレストラン施設跡地を活用し、こども向け図書館がオープンします。乳幼児親子がくつろぎながら絵本の読み聞かせができるコーナーや児童図書コーナーが充実し、こどもの年代に合わせた読書スペースが整備されています。また、江東区立図書館では電子図書館サービスも開始され、インターネットに接続したパソコンやスマートフォン、タブレット等の通信機器を利用して、24時間いつでもどこでも電子書籍の貸出・返却・閲覧等ができます。



(表紙写真: 亀戸天神社)

江東区がめざすまちの姿



江東区基本構想

江東区では、平成21年3月に策定した「江東区基本構想」で区の将来像を「みんなでつくる伝統、未来水彩都市・江東」と定めています。基本構想とは、まちの将来像を定め、まちづくりにおける基本的な指針となるものです。この基本構想では、目指すべきまちの姿をそれぞれの分野ごとに具体化し、次の5つの大綱として定めています。



江東区長期計画



長期計画は、基本構想に定める将来像及び施策の大綱を実現するため、10年間の具体的な施策の方向性を示す区の総合計画です。令和2年度から新たな長期計画のもと、未来の江東区づくりに向けて一層積極的な事業展開を行っています。

長期計画	平成22(2010)年度～平成31(2019)年度
新長期計画	令和2(2020)年度～令和11(2029)年度

# 江東区の鬼どころ

Places to visit in Koto City

コミュニティサイクルで巡ってみよう!

地域内に設置されたサイクルポートであれば、どこでも自転車を貸出・返却することができるシステムです。自転車で江東区を巡ってみてはいかがでしょうか?



## 江戸の文化息づく 深川地区

神社仏閣の祭礼などの年中行事を中心に、江戸市民の遊興地としてもにぎわい、江戸文化の華を咲かせた深川地区。名所・旧跡が多数存在し、伝統芸能や伝統工芸、「深川めし」に代表される食文化など、庶民の「いき」な江戸情緒を身近に感じることができる地区です。



### 1 富岡八幡宮

東京十社にも数えられ、江戸三大祭のひとつ、「深川八幡祭り(別名:水かけ祭り)」で有名な神社。江戸勸進相撲の発祥地でもあり、現在も新横綱誕生の際には土俵入りが奉納されます。

### 2 清澄庭園

都の名勝第1号に指定されている清澄庭園。広大な池の周りを島々が取り囲む、明治の庭園を代表する「回遊式林泉庭園」であり、随所に樹木や名石が配置され、四季を通じて様々な美観を楽しむことができます。



### 3 松尾芭蕉ゆかりの地

俳諧師・松尾芭蕉は、深川の庵を拠点に活動し区内には芭蕉記念館などの芭蕉にまつわる史跡が数多く残されています。代表作「おくのほそ道」の壮大な旅もこの深川の地から出発しました。

### 4 カフェの街

深川エリアは近年、木材倉庫の跡地を活用したカフェが続々とオープンし、「カフェとアートの街」としても大人気。清澄白河のブルーボトルコーヒー日本1号店に代表されるカフェや飲食店が多数存在するおしゃれな街並みを楽しめます。



## 人情あふれる 城東地区

城東地区は、亀戸神社や亀戸香取神社といった由緒正しい神社仏閣や、活気に満ち溢れる砂町銀座商店街、B級グルメが人気の亀戸駅周辺など、下町の面影や人情を感じることができる地区です。



### 1 亀戸神社

学問の神様である菅原道真が祀られる東京十社のひとつ。「亀戸の天神さま」として親しまれ、受験生や多くの参拝客が訪れます。「新東京百景」の一つにも数えられ、梅や藤の季節には東京スカイツリー®を臨む景色が楽しめます。

### 2 砂町銀座商店街

テレビなどでたびたび取り上げられる江東区を代表する商店街。180もの店舗が軒を連ね、安くておいしいグルメは食べ歩きも楽しめます。昔ながらの区民の台所は、下町人情味あふれる、心もおなかも満たされるスポットです。



### 3 江東花火大会

江東区、商店街、地元企業が協力して開催する、夏の風物詩。荒川に浮かぶ台船から約6,000発の花火が打ち上げられ、夜空を華やかに飾ります。都内では珍しい、目の前で上がる花火は迫力満点です。



### 4 KAMEIDO CLOCK

令和4年4月に江東区にオープンした新しい大型商業施設です。こどもと安心して遊べるキッズパークも兼ね備えており、広場で多種多様なイベントを開催しています。地域共生をテーマに都市開発を行い、住宅棟、区立小学校・幼稚園、子ども家庭支援センター、認可保育所が隣接しています。



城東地区

深川地区

臨海部地区

発展続く

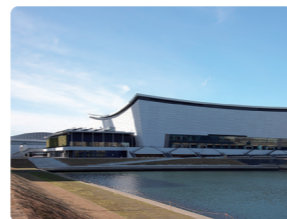
## 臨海部地区

臨海部地区は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で全国最多の競技会場を有する大会の中心地となりました。大規模なコンベンション施設や文化・スポーツ施設、東京国際クルーズターミナルなど、発展を続ける地区であり、今後も様々な施設の開業が予定されています。日々変化するその姿からは東京の未来への期待を感じることができます。



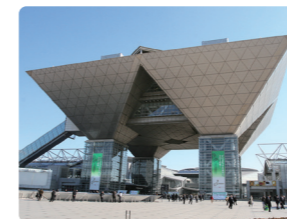
### 1 豊洲市場

平成30年に首都圏の新たな基幹市場としてオープンした豊洲市場。新たな食の魅力スポットとして、活気あふれる市場の様子は国内外からも注目され、令和6年2月にはよいよ「千客万来施設」がオープンする予定です。



### 2 有明アリーナ

東京2020オリンピック・パラリンピックの競技会場であり、東京アクアティクスセンターや夢の島公園アーチェリー場、海の森水上競技場と同じく、レガシー施設として活用されています。区民が身近にスポーツやイベントを楽しむとともに東京2020大会の成果を未来に継承していきます。



### 3 東京国際展示場 (東京ビッグサイト)

「東京ビッグサイト」の名で親しまれている日本最大級のコンベンション施設。国際的な会議や展示会、イベントが多数開催され、大人気のコミックマーケットには毎年たくさんの方が訪れ、話題となっています。



### 4 海の森 (中央防波堤埋立地)

東京のごみの最終処分場である中央防波堤埋立地は、海の森水上競技場を含む約8割が江東区の帰属となり、区民からの公募により海の森と命名されました。今後は江東区の新たな魅力ある新スポットとなるよう、国・東京都・民間事業者等と連携しまちづくりを行っていきます。